

鳥取県中部地震における活動

◎徳島県の動き

鳥取県で震度6弱の地震が発生したことを受け、徳島県は両県で締結している相互応援協定に基づき、発災当日に職員6名（危機管理部3名、消防防災航空隊員3名）を派遣した。危機管理部の3名は発災後27分後に県庁を出発し、午後5時25分には鳥取県庁に入り、現地の情報収集に努めた。

また、翌22日には、ブルーシート約600枚、土のう袋約5,000袋などの物資を徳島県トラック協会の手配するトラックにより、倉吉市役所へ届けた。

県土整備部としては、発災後すぐに、**被災建築物応急危険度判定士**及び**被災宅地危険度判定士**の派遣体制を整え、翌22日に「**TEC-徳島**」として、被災建築物応急危険度判定士及び被災宅地危険度判定士計4名を派遣した。その後も引き続いて、23日に11名（第2陣）、26日に10名（第3陣）を派遣し、建築物**412件**、宅地**548件**の判定を実施した。

◎派遣状況

派遣期間 平成28年10月22日（土）～10月30日（日）

派遣人数 計25名 のべ190人・日 派遣

- ・ 統括 1名
- ・ 建築物判定班（被災建築物応急危険度判定士） 10名
- ・ 宅地判定班（被災宅地危険度判定士） 14名



出発式

◎活動状況



建築物判定班



宅地判定班

◎判定結果

建築物判定

| | 危険 (赤) | 要注意 (黄) | 調査済み (緑) | 簡易判定 | 計 |
|-----|-----------|------------|-------------|------|-----|
| 第1班 | 0 | 10 | 76 | 46 | 132 |
| 第2班 | 0 | 9 | 26 | 89 | 124 |
| 第3班 | 5 | 3 | 38 | 110 | 156 |
| 計 | 5 | 22 | 140 | 245 | 412 |



宅地判定

| | 危険 (赤) | 要注意 (黄) | 調査済み (青) | 簡易判定 | 不明 | 計 |
|-------|-----------|------------|-------------|------|----|-----|
| | | | | (青) | | |
| 第1班 | 0 | 0 | 0 | 16 | 0 | 16 |
| 第1-1班 | 1 | 7 | 3 | 55 | 0 | 66 |
| 第1-2班 | 3 | 1 | 0 | 65 | 0 | 69 |
| 第2班 | 0 | 3 | 1 | 108 | 1 | 113 |
| 第3-1班 | 0 | 9 | 1 | 122 | 0 | 132 |
| 第3-2班 | 2 | 0 | 2 | 148 | 0 | 152 |
| 計 | 6 | 20 | 7 | 514 | 1 | 548 |

